

令和4年度
就職促進情報誌企画制作業務

業務仕様書

令和4年6月
岩手県

この仕様書は、岩手県（以下「県」という。）が実施する「令和4年度就職促進情報誌企画制作業務」（以下「本業務」という。）に関し、県が契約する事業者（以下「受託者」という。）に要求する本業務の仕様を明らかに示すものである。

1 本業務の概要

(1) 現状と課題

人口減少が進み、全国的に人手不足が深刻化する中、本県では、北上川流域において、ものづくり（自動車・半導体）やIT関連産業の集積に伴い、今後の多様な産業を担う人材の確保が急務であり、また、新型コロナウイルス感染症の影響により、若者の地方への移住への関心が高まっていることから、若者が岩手で働き、暮らすことを選択する新たな人の流れを作る必要がある。

(2) 目的

これから進路を考える「高校生」や、県外の大学生や社会人などの「若者」に、岩手で働き・暮らす魅力や可能性を発信することで、高校生の県内企業の認知度向上や将来的なUターンの促進を目指すとともに、県外在住の若者のU・Iターンの促進につなげること。

(3) 基本コンセプト

次の事項を基本コンセプトとし、ターゲットに対し訴求力の高い雑誌を制作すること。

なお、これらのコンセプトを踏まえた雑誌を制作するに当たり、若者が「手に取りたくなる」「ページをめくりたくなる」「面白いと感じる」工夫を行うこととし、当該工夫も含め、企画内容を提案すること。

「いわての過去・現在・未来」

<過去> いわての歴史や先人たちに学ぶ

「盛岡県」から「岩手県」に名称を変更して、令和4年1月に150周年となったことを契機として、ふるさとの歴史や、先人たち（原敬など）の先進性を振り返り、歴史の中で培われてきた恵まれた自然環境や活力ある産業基盤などの「岩手の強み」を未来志向で学んでもらう。

<現在> いわての企業の熱量を感じる

女性が活躍する企業、業界をけん引する企業、高校生が日常的に接する身近な企業、社会変化（感染症対策・デジタル化・循環型社会など）に対応する企業など、多様な職種の産業・企業を多面的に深掘りし、働く場所としての岩手の「多様性」と、企業やそこで働く大人の「熱量」を感じてもらおう。

<未来> いわての無限の可能性に気付く

岩手にいながら世界とつながり、岩手から世界へと羽ばたいている企業・人物や、世界が岩手に集まるプロジェクト（八幡平市に開校予定のハロウ・インターナショナルスクール安比ジャパンなど）などを紹介し、「岩手だからこそ世界的に輝く可能性」に気付いてもらう。

2 仕様等

本業務の範囲は次のとおりとし、具体的な内容は提案事項を基本とする。

(1) 情報誌の制作・販売

ア 情報誌の仕様

① 発行主体

県、受託者

② タイトル

本事業の目的、基本コンセプト、提案する内容にあったタイトルを提案すること。

③ 作成する情報誌の種類

無料配付版（高校生向け）と有料販売版（県外の若者向け）の2種類を製作する。

④ 規格及び発行部数（40,000部以上）

次の内訳のとおり発行する。

- ・無料配付分 B5以上A4以下、カラー60ページ程度、36,000部を制作すること。
- ・有料販売分 B5以上A4以下、カラー80ページ以上、4,000部以上を制作すること。

※有料版は、1,000部を県に納入し、3,000部以上は受託者において販売することとし、販売に当たっては、県外在住の若者が購入しやすい方法を提案すること。また、県と事前に協議の上、委託事業者の経費負担により増刷し販売することを妨げない。

イ 構成内容

- ① 若者が「手に取りたくなる」「ページをめくりたくなる」「面白いと感じる」工夫を凝らした「表紙」「目玉記事」「企業紹介記事」「特集記事」などを提案すること。なお、スポーツや文化等の各分野で活躍する著名人等を効果的に取り上げること。
- ② 過去に県が発行した就職促進情報誌「いわて・ダヴィンチ2022」などの構成内容を分析し、その評価・課題に対応した「新しい提案」を構成内容の一部に盛り込むこと。
- ③ 「県内企業の魅力をより身近に実感できるような工夫」や、高校生への無料配付に関連した「総合的な探究の時間」等の授業・キャリア教育での活用を想定した工夫」を提案すること。
- ④ 有料販売分は、ターゲットが「県外の若者」であることを踏まえ、無料配付分の内容を基本としながら、U・Iターン支援制度や、大都会と遜色ない働き方・自分らしいライフスタイルを実践する若者の活躍の紹介などを含む、有料版としての「付加価値」をつける企画を提案すること。

ウ 制作・編集

- ① 情報誌等の制作・編集経験がある者が行うこととし、岩手県庁での打合せ又はオンラインでの打合せを3回以上実施すること。
- ② 情報誌の制作方針の策定、発行・販売までのスケジュール調整などは、受託者が行うものとし、随時、県と協議の上で行うこと。あわせて、必要かつ適切な人員等体制を整備すること。
- ③ 校正作業は、受託者が責任をもって実施すること。
- ④ 表紙の装丁に工夫を凝らすなど、販売促進策を企画に盛り込むこと。
- ⑤ 令和5年1月13日（金）までに発行することとし、令和4年12月下旬に報道機関への発表が可能となるよう、計画的に制作・編集を進めること。

エ 県への提出、高校等への送付

① 本情報誌

無料配付分 36,000部のうち、令和5年1月13日（金）までに各高等学校及び県内外の大学等（320箇所程度。各高等学校への配付部数等は県から別途指示する。各大学等への配付部数は3部程度を想定していること。）へ送付し、残部を県に納入すること。

有料販売分のうち1,000部を令和5年1月13日（金）までに県に提出すること。

② ポスター

情報誌表紙のメインビジュアルなどを活用したカラーA1サイズのポスターを製作し、100枚以上を県に提出すること。なお、ポスターは岩手県が県内外で実施するイベント等で活用することを可能とすること。

オ 流通・販売

- ① 令和5年1月13日（金）までに販売を開始すること。
- ② 販売促進（売り込み）を含め、県外書店等での販売を可能とする流通販売方法を提案することとし、実施に当たっては、県と協議した上で、流通販売体制を整備すること。

カ 委託事業に係る情報誌の販売収入

本委託事業に係る情報誌の販売収入は受託者の収入とする。

キ 県の情報媒体等での情報発信

- ① 制作した情報誌の一部を県のホームページ、公式SNS等での利用を可能とすること。
- ② 情報誌に掲載する写真等のデータについて、岩手県への雇用創出に繋がると認められる場合、県以外が利用する場合でも無償で利用を可能とすること。
- ③ 県が指定するページについて、県が複製してイベント等で配布することを可能とすること。

(2) 情報誌と連動した企画

ア 高校生に訴求し、授業などで活用されるための工夫

2 (1) ア(オ)③に記載した仕掛けに関する「企画」を提案すること。

イ インターネット上での無料公開

本県の魅力を広く発信するため、無料配付版の一部をインターネット上で公開することとし、効果的な手法などを提案すること。(例：「電子ブック形式により県ウェブサイトで公開」、「誌面をもとに作成したウェブ記事形式により多くの若者の閲覧が期待できるウェブサイトで公開」等)

ウ 無料配布版の「全高校生を対象としたアンケート調査」の実施

無料配付版と連動して、情報誌による就職意識の変化や進路意向などに関する「全高校生を対象としたアンケート調査」を実施し、調査結果を整理・分析すること。なお、調査項目は県と事前に協議するとともに、県が実施する情報発信ツール(LINE公式アカウント「いわてとつながろう」)のPRなどを盛り込むこと。

エ 有料販売版の「読者アンケート」の実施

効果検証を可能とする「読者アンケート」を実施すること。また、必要に応じて、アンケートに係る景品を用意すること。ただし、景品は県産品や掲載企業の商品等、岩手県にゆかりがあるものとする。

オ その他

- ・ 費用対効果の高いPR
事業の話題性喚起と有料販売分の販売促進のため、費用対効果の高いPR手法を提案すること。
- ・ 県ウェブサイトとの連動
県が運営する移住定住ポータルサイト「イーハト一部に入ろう！」及び就職情報サイト「シゴトバクラシバいわて」に誘導する内容を盛り込むこと。

(3) 自由提案

その他、本事業の目的や基本コンセプトなどに関し、情報誌と連動した企画等があれば、提案すること。